

国際安全保障学会

第5回定例研究会

2013年7月6日（土曜日） 13時00分～17時45分

同志社大学（今出川キャンパス）

寧静館5階会議室

キャンパスマップ：

http://www.doshisha.ac.jp/information/campus/imadegawa/imadegawa.html?neiseikan_building#campusmap

および本プログラム末尾を参照

【ご注意】

- ・会場の位置については、上のキャンパスマップで事前に必ずご確認ください。
- ・今出川キャンパスへのアクセスへのリンクは、上の URL 中にあります。
- ・本プログラム末尾に添付したマップは過去に使用されていたものですが、会場の位置はこちらの方が視覚的にわかりやすいと思います。ただし、烏丸通に面した新棟建設予定地には、実際には既に建物が建っておりますのでご注意ください（寧静館はその東隣りです）。
- ・当日は、主要なゲートに案内を出す予定ですが、それがなくとも会場に到着できるようにして下さい。
- ・長時間の休憩は1回だけです。飲み物等は、事前に購入してお持ち込みになることをお勧めいたします。

受付開始：12時30分

開会：13時00分

総合司会： 中谷直司（同志社大学助教）

開会の言葉 国際安全保障学会理事・定例研究会小委員会委員長
神谷万丈（防衛大学校教授）

実行委員長挨拶 国際安全保障学会理事・関西定例研究会実行委員長
村田晃嗣（同志社大学学長）

会長挨拶 国際安全保障学会会長
高木誠一郎（日本国際問題研究所研究顧問）

セッションⅠ：13時15分～14時35分

- 【テーマ 戦前・戦中の日本の生存戦略】
- 研究報告1 1930年代初頭における国家生存戦略の変容
——外務省アジア派による日中提携路線の追求
- 報告者 湯川勇人（神戸大学大学院法学研究科博士後期課程）
- 研究報告2 旧日本海軍による原子力研究の誕生と終焉
- 報告者 田中慎吾（大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程）
- 討論者 中西寛（京都大学教授）
- 司会・討論者 村田晃嗣

セッションⅡ：14時40分～16時00分

- 【テーマ 安全保障の諸相】
- 研究報告1 ベトナム戦争後のアメリカ海兵隊のドクトリン改訂に関する一考察
- 報告者 阿部亮子（同志社大学法学研究科博士後期課程）
- 研究報告2 ASEANのメンバーシップ、1966-67
——不信緩和の地域協力制度に着目して
- 報告者 井原伸浩（神戸大学大学院法学研究科特命講師）
- 討論者 栗栖薫子（神戸大学教授）
- 司会・討論者 村田晃嗣

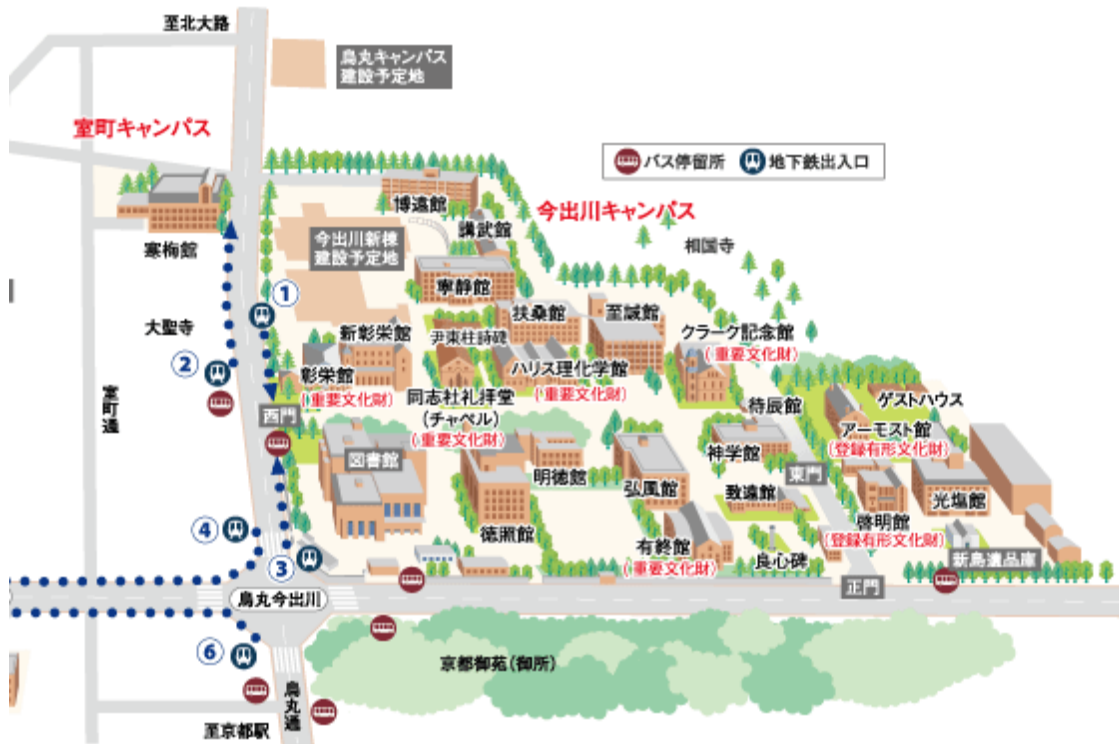
[休憩]

セッションⅢ：16時25分～17時45分

- 【テーマ 国際介入をめぐる】
- 研究報告1 国連加盟国はなぜ「保護する責任」に合意したのか
- 報告者 政所大輔（神戸大学大学院法学研究科博士後期課程・日本学術振興会特別研究員DC2）
- 研究報告2 シリア危機はなぜ長期化しているのか？
——変容する叛乱勢力と国際介入のジレンマ
- 報告者 溝渕正季（日本学術振興会特別研究員〔PD〕／東京外国語大学／
ハーバード大学ケネディ公共政策大学院ペルファー科学・国際関係センター研究員就任予定）
- 討論者 神谷万丈
- 司会・討論者 松村昌廣（桃山学院大学教授）

閉会

キャンパスマップ



懇親会のご案内

- ・終了後、会場近隣の店にて懇親会を行います。奮ってご参加下さい。
 - ・会費については、これまで同様、院生・若手の会員（パーマネント・ポジションについていない方）への優遇措置を考えております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。おおむね、一般 4500 円、院生・若手 3000 円程度を目安に会場を探します。
- ◎会場予約の都合上、参加希望者は、必ず事前の申し込みをお願いします。会場は、当日お知らせします。